

目次

1. FORTRAN77 EXコンパイラ, FORTRAN77 EX/VPコンパイラ一部障害のお知らせ	1
2. SUCPMの運用停止について	4
3. UTILISPの運用停止について	4
4. APLの運用停止について	4
5. ADLIIシステムの提供停止について	4
6. MNT78の運用停止について	5
7. RAMBIOSのデータ更新について	5
8. 第10回九州大学大型計算機センター 計算機科学研究集会の開催について(再掲)	6

1. FORTRAN77 EXコンパイラ,
FORTRAN77 EX/VPコンパイラ一部障害のお知らせ

FORTTRAN77 EX コンパイラ(MSP, UXP)および, FORTRAN77 EX /VPコンパイラに一部障害があったことが判明しました. 内容, 発生条件, 障害のあった期間等は, 次のとおりです.

障害に該当する場合, 期間中に作成したロードモジュールは再作成する必要があります. お心あたりの方は, ライブラリ室までお問合せ下さい.

なお, 障害は MSP, VP側は1992年10月12日(月)に, UXP側は1992年10月2日(金)に修正済みです.

記

① 最適化オプション指定時の実行結果異常

【現象と条件】

以下の条件を全てみたととき、実行時に異常終了するか、または実行結果が異なることがあります。従って、条件を1つでも満たさなければ、障害は起きません。また、発生頻度はかなり少ないと考えられます。

- (1) OPTIMIZE オプションで翻訳している。かつ
- (2) COMMON に配列変数が宣言されている。かつ
- (3) 別の配列変数が(2)の配列変数と EQUIVALENCE 宣言されている。かつ
- (4) 更に別の配列変数が(3)の配列変数と EQUIVALENCE 宣言されている。かつ
- (5) (4)の EQUIVALENCE 宣言において、(3)の配列変数の添字位置が(2)の配列変数の要素数より大きい位置を指定している。かつ
- (6) (4)の配列変数への代入がある。

【プログラム例】

```
SUBROUTINE STBMPL
COMMON /CTRAC/ ALCM(1)      (a)
DIMENSION A(100)
EQUIVALENCE (ALCM(1),A(1))  (b)
DIMENSION ARELN(1)
EQUIVALENCE (A(28),ARELN(1)) (c)
:
ARELN(K)= RXEL              (d)
RETURN
END

PROGRAM MAIN
COMMON /CTRAC/ ALCM(200000)
:
CALL STBMPL
:
STOP
END
```

上記プログラムにおいて (a) が (2)、(b) が (3)、(c) が (4) と (5)、及び (d) が (6) の条件に各々相当します。つまり、次のようになります。

- (2) COMMON に配列変数 ALCM が宣言されている。 (a)
- (3) 別の配列変数 A が、配列変数 ALCM と EQUIVALENCE 宣言されている。 (b)
- (4) 更に別の配列変数 ARELN が、配列変数 A と EQUIVALENCE 宣言されている。 (c)

- (5) (4) の EQUIVALANCE 宣言において、配列変数 A の添字位置(28)が、
配列変数 ALCM の要素数(1)より大きい (c)
- (6) 配列変数 ARELN への代入がある (d)

② IVALUE サービスサブルーチンの実行結果異常

【現象と条件】

IVALUE サービスサブルーチンの第一引数を変更せずに実行すると、第三引数の値を誤った領域に設定する場合があります。

IVALUE サービスサブルーチンとは、CALL IVALUE(i, j, k) で呼び出され、第三引数で指定した値をそのまま第一引数に代入するサブルーチンです。第二引数は転送する個数を指定します。

【プログラム例】

```
@FORTRAN OPT(F)
  PARAMETER(ICNT=3)
  PARAMETER(IVAL=0)
  INTEGER*4 A(10)
  DO 10, I=1, 10
    A(I)=I
10  CONTINUE
  DO 100, J=1, 3
    CALL IVALUE(A, ICNT, IVAL) ! 配列 A の先頭 3つに 0 を代入する
100 CONTINUE
  WRITE(*, *) A
END
```

```
出力結果：0 0 0 0 0 0 0 0 0 10 ← 今までの誤った実行結果
           0 0 0 4 5 6 7 8 9 10 ← 修正後の正しい結果
```

[障害のあった期間]

MSP, VP 1991年11月11日 ~ 1992年10月9日
 UXP 1992年 1月 8日 ~ 1992年10月1日

(ライブラリ室 内線2509)
 e-mail:f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

2. SUCPMの運用停止について

標記プログラムは 1970年にセンターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで、一つのプロジェクトについて、各工期の標準時間・特急時間及びそれらの費用を与えたとき、全工期を短縮するのに必要な最低限の費用を計算するものです。

過去におけるセンターのライブラリカウントの結果、利用者がきわめて少数であることから、開発者の許可を頂きましたので、ライブラリの運用を1993年3月末日をもって停止します。運用停止によって支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

3. UTILISPの運用停止について

標記ソフトウェアは、センターのライブラリ統計の結果、極めて利用が少数である上、現在運用中のCOMMON LISPにUTILISP互換機能が包含されています。従って、1993年3月末日をもって運用を停止する予定です。

運用停止にともない、支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

4. APLの運用停止について

標記ソフトウェアは、センターのライブラリ統計の結果、極めて利用が少数であるため、1991年12月末日をもって既に運用を停止しております。センター2階に設置されていたAPL端末も同時期に撤去されています。

APL利用者の方には事前の説明がなく、かつ運用停止のニュース・広報が大幅に遅延したことをお詫びいたしますが、宜しくご了承下さいますようお願いいたします。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

5. ADLⅡシステムの提供停止について

標記システムの提供をライブラリ開発者の許可を頂き、1993年3月末日をもって停止します。支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

6. MNT78の運用停止について

標記プログラムは1978年にセンターのライブラリ開発課題として登録されたプログラムで、半導体検出器の紙テープをBOB73のデータセットに変換するコマンドです。

センターのライブラリカウントの結果、利用者がきわめて少数であることから、ライブラリの運用を、開発者の許可を頂きましたので、1993年3月末日をもって停止します。

運用停止によって支障の生じる方は、早めにライブラリ室までご連絡下さい。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

7. RAMBIOSのデータ更新について

11月2日に分子生物学関係英文二次レビュー文献データベースRAMBIOS (Review Article in Molecular Biosciences) のデータを更新しました。収録データは、第1～6巻の5,381件です。データベース管理システムAIRで検索することができます。

起動例

AIR RAMBIOS

参考文献

- [1] 木原 他, 情報検索システムAIRによるRAMBIOSの検索, 九州大学大型計算機センター広報, vol.18, No.6, pp.497-506, 1985年11月.
- [2] 篠原 他, 情報検索システムAIRの改訂について, 九州大学大型計算機センター広報, Vol.20, No.3, pp.211-238, 1987年5月.

(データベース室 内線2510)

furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp

8. 第10回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会の開催について(再掲)

標記集会を次の要領で開催しますので、ふるってご参加ください。

九州大学大型計算機センター
第10回計算機科学研究集会プログラム

日時：平成4年11月27日(金) 9:50～17:00

場所：大型計算機センター多目的講習室

開会の辞 (9:50～10:00) 牛島 和夫 (九州大学大型計算機センター)

講演 (10:00～11:00) 座長 松尾 文碩 (九州大学工学部)

1. 非線形楕円型境界値問題の解に対する精度保証付き数値計算法
渡部 善隆 (九州大学大型計算機センター)
中尾 充宏 (九州大学理学部)

2. 拡散過程に付随した拡散方程式の数値計算法について
竹生 政資 (九州工業大学情報科学センター)
飯塚 勝 (筑紫女学園短期大学一般教育)

———— 休憩 (11:00～11:10) ————

講演 (11:10～12:10) 座長 雨宮 真人 (九州大学大学院総合理工学研究科)

3. 1991年台風19号による山口地方の塩害の衛星リモートセンシング調査
後藤 恵之輔 (長崎大学工学部)
大田 哲男 (長崎県庁)
森 正寿 (近畿大学九州工学部)

4. 多時期衛星データでみる雲仙・普賢岳火山災害の推移
後藤 恵之輔 (長崎大学工学部)
蒲川 俊浩 (大村工業高等学校)
湯藤 義文, 吉本 雅利 (長崎大学工学部)

———— 昼休み (12:10～13:30) ————

講演 (13:30～15:00) 座長 有田 五次郎 (九州工業大学工学部)

5. 連合データベースにおける永続データの管理法
木實 新一, 古川 哲也 (九州大学大型計算機センター)

6. 英文科学技術文献抄録文における動詞の決定
竹田 正幸, 楠本 典孝, 松尾 文碩 (九州大学工学部)

7. 正規パターン上の決定木の学習アルゴリズムによるタンパク質データからの知識獲得
宮野 悟, 篠原 歩, 有川 節夫 (九州大学理学部)
下園 真一, 篠原 武 (九州工業大学情報工学部)
久原 哲 (九州大学大学院農学研究科)

———— 休憩 (15:00～15:20) ————

特別講演 (15:20～16:50)

二重指数関数型数値積分公式 - ガウス公式を超える汎用で頑強な公式 -

森 正武 (東京大学工学部)

閉会の辞 (16:50～17:00) 牛島 和夫 (九州大学大型計算機センター)

問合せ先：〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大型計算機センター
研究開発部 古川哲也 (Tel. 092-641-1101 内線 2510)

furukawa@cc.kyushu-u.ac.jp